

## 令和3年度交流研究員受入れ課題

課題名及び概要	使用可能な機器等	担当部課室
<p><b>【地理空間情報部】</b></p> <p>○ <b>ベクトルタイル地図のWeb提供に関する研究</b>          国土地理院では、各ユーザがWebブラウザ上で目的に応じたデザインの地図を作成することのできるベクトルタイル地図の開発を進めている。          本研究は、ベクトルタイルの生成、ベクトルタイル地図のスタイリング（デザイン）及びWeb地図サイトを通じた閲覧・提供に関する研究を行うものである。          交流研究員として本研究に携わることにより、今後、ウェブ地図での利用が広がると想定されるベクトルタイル地図に関する知識・技術の習得が期待される。          ※ HTML及びJavaScriptに関する基礎知識を有すること。</p> <p><b>【基本図情報部】</b></p> <p>○ <b>各種地理空間情報を用いた3次元地図作成に関する研究</b>          国土地理院で保有する空中写真、3次元点群データ、2次元ベクトル地図データ等各種地理空間情報を用いて、効率的かつ高精度なベクトル3次元地図データを作成する手法を検討する。          交流研究員として本研究に携わることにより、今後利用の拡大が想定される3次元地理空間情報を作成・活用する技術の習得が期待される。</p> <p>※国土地理院で保有していない測量機器、測量成果等地理空間情報の持込みも可（LAN不接続等制限あり）</p>	<p>・作業用PC          ・関連ソフトウェア</p> <p>・作業用PC          ・関連ソフトウェア等          ・各種地理空間情報</p>	<p>地理空間情報部          情報普及課</p> <p>① 2～3か月          ② 5～12月          ③ 1名</p> <p>基本図情報部          地図情報技術開発室</p> <p>① 最大3ヶ月間          ② 10～12月          ③ 1名</p>
<p><b>【測地観測センター】</b></p> <p>○ <b>GNSS観測点の受信環境に応じた解析技術に関する研究</b>          GNSS観測点の周辺に樹木や建造物等がある環境下では、測位衛星からの信号受信や観測データの品質に悪影響を及ぼすことがある。そこで、GNSS観測点の周辺環境による影響を低減する手法を用いたGNSS観測データの解析、精度評価、試験観測等を行い、その課題や効果を検証する。          交流研究員は、GNSS観測点の受信環境に応じた解析技術の習得等、GNSSに関する知見を深めることが期待される。</p>	<p>・観測機材一式          ・GNSS解析用ソフトウェア</p>	<p>測地観測センター          衛星測地課</p> <p>① 最大2ヶ月間          ② 6～7月          ③ 1名</p>

## <連絡事項>

### 1. 使用可能な機器等

持込 PC の Net 接続、新規ソフトのインストールは、コンピュータセキュリティ上制限されます。

### 2. 担当部課室

①②③は、受入れを担当する部課室の希望期間等です。申請いただいた課題によっては、調整させていただく場合がございますので、あらかじめ御了承願います。

①受入れ希望期間

②受入れ希望時期

③同期間内の受入れ可能人数

### 3. 受入れの選考

同一課題について受け入れ可能人数を超える応募があった場合は、申請書に基づく書類審査で選考させていただきますので、あらかじめ御了承願います。